

はじめに



西宮市長
阿部 俊司

西宮市は、昭和38年に文教住宅都市という誇らしい都市目標を掲げています。自然環境と利便性が調和し、住んでみたいまちとして高い評価をいただけるのは、その伝統を積み重ねてきた証であると考えています。今後とも、文教住宅都市としての魅力を生かし、市民の皆様が、西宮市に対して愛着と誇りを持てるような施策を進めてまいります。

さて、西宮市では、平成31年度からのまちづくりの指針となる第5次西宮市総合計画の策定に向け取り組んでいます。去年は地域ごとの課題などを把握するために市内9地域で総合計画広聴会を実施し、皆様のご意見を伺うことができました。第5次西宮市総合計画の検討を進めていくにあたり、いただいたご意見を活用し、住民の視点を踏まえたまちづくりを進めてまいります。

また、この「市民意識調査」についても、20歳以上の市民3,500人に広くご意見をお聴きし、市政に対する意識を把握するための重要な広聴事業と考えています。昭和29年から継続して実施し、毎回、多くの貴重なご回答をいただいております。今年度は「平和施策の推進」「救急医療体制・電話医療相談」「下水道事業・雨水浸水対策事業」をテーマとして調査を実施しました。ここにまとめました調査結果から、皆様の意識・ニーズを的確に把握し、市民満足度の高い行政運営に努めてまいります。

結びに市民意識調査にご協力いただきました市民の皆様、ならびに調査結果の分析をご指導いただきました関西学院大学政治行動研究センター・山田真裕教授をはじめ、関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

平成29年2月